



IR HANDBOOK

第66期 事業のご報告
2014.4.1▶2015.3.31

人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
69.3%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

貴金属地金・エレクトロニクス業界向け貴金属材料の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界を主要な顧客先としています。

環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクルと、その他製造業から発生する産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

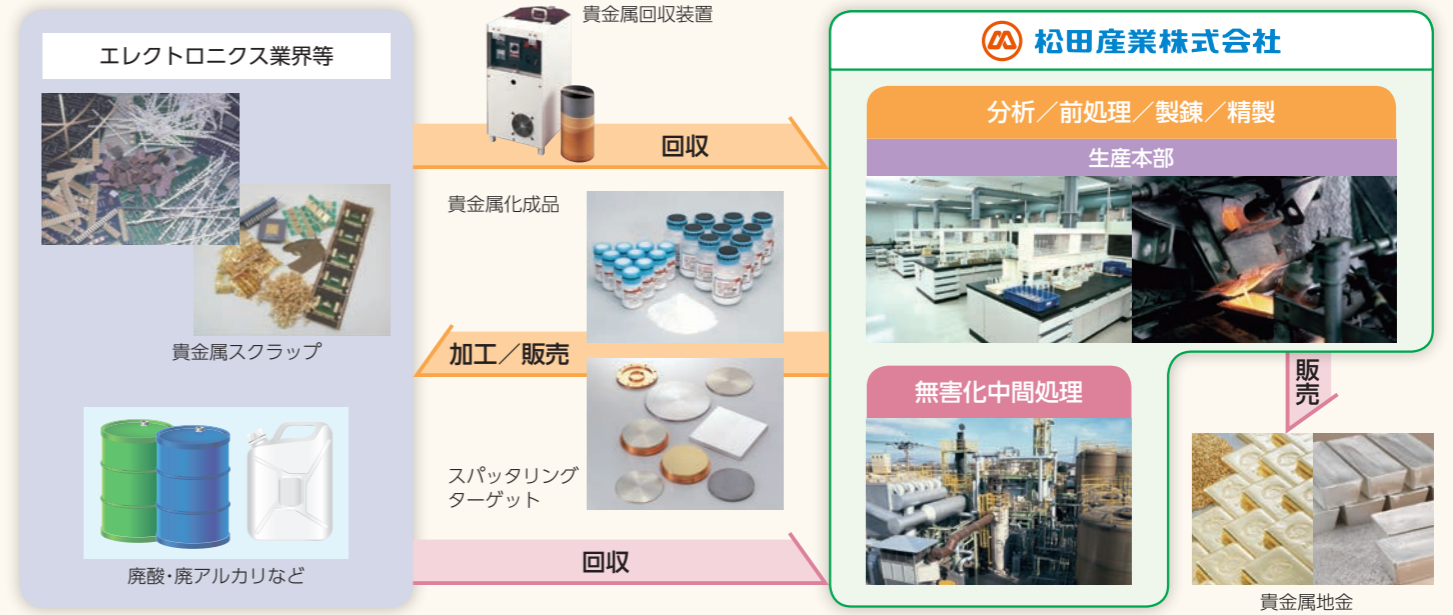
貴金属事業の強み

1. 貴金属化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
2. 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の流通市場で品質が保証されています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
30.7%

事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



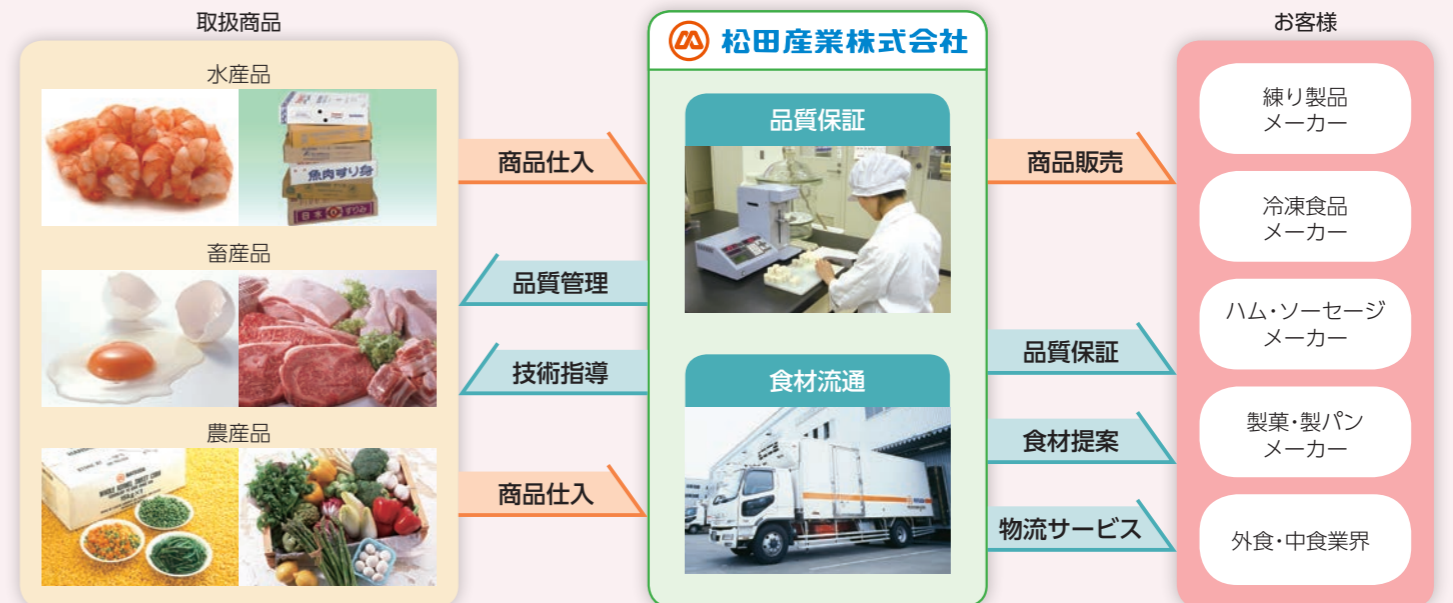
事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安心・安全な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

1. ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
2. 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
3. すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

事業フロー



事業基盤と顧客基盤をさらに拡充し、グローバル成長を加速してまいります。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2015年3月期（2014年4月1日～2015年3月31日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

代表取締役社長 松田 芳明

2015年3月期の業績と配当につきまして

国内では製造業を中心とした大企業の収益改善等を背景に緩やかな景気回復基調が続き、個人消費も消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を乗り越え底堅い動きとなった一方、世界経済減速への懸念等から、先行きが不透明な状況が続きました。

こうしたなか貴金属関連事業では、貴金属原料の確保や製品販売に鋭意取り組み、貴金属製品の販売量が増加したほか、貴金属相場の上昇の影響もあり、増収増益となりました。

食品関連事業では、円安や海外での食材需給ひっ迫等を背景に仕入価格が上昇するなど厳しい事業環境で推移しましたが、水産品、畜産品、農産品のいずれも販売数量が拡大し、価格上昇も寄与した結果、増収増益となりました。

2015年3月期 ハイライト

貴金属関連事業

- 2014年4月
第1回高機能金属展2014に出展
- 2014年12月
セミコンジャパン2014に出展
- 2015年1月
ネブコンジャパン2015に出展

その他経営関連

- 2014年5月～2014年6月
自己株式の取得を実施

事業基盤と顧客基盤をさらに拡充し、成長を加速してまいります

貴金属関連事業では引き続き、エレクトロニクス産業の一大拠点である東アジアにおいて「No.1リファイナー」を目指すというビジョンのもと、商品・サービス力のさらなる強化により、グローバル競争力と収益力を高め、持続的成長を確保してまいります。かねて建設を進めてきたベトナムの貴金属製錬工場は9月から稼働を予定しており、当社グループの貴金属回収事業基盤はさらに強化されます。今後は従来からの日系メーカーを中心とする顧客基盤に加え、非日系メーカーの顧客の開拓を加速し、販売、回収事業をグローバルに拡大してまいります。

食品関連事業では、今後も当社グループならではの品質保証ノウハウを活かし、安全・安心かつ高品質で安定的な食品原料の供給によって事業を差別化するとともに、海外現地での原料販売や三国間貿易にも注力し、顧客基盤をグローバルに拡大してまいります。

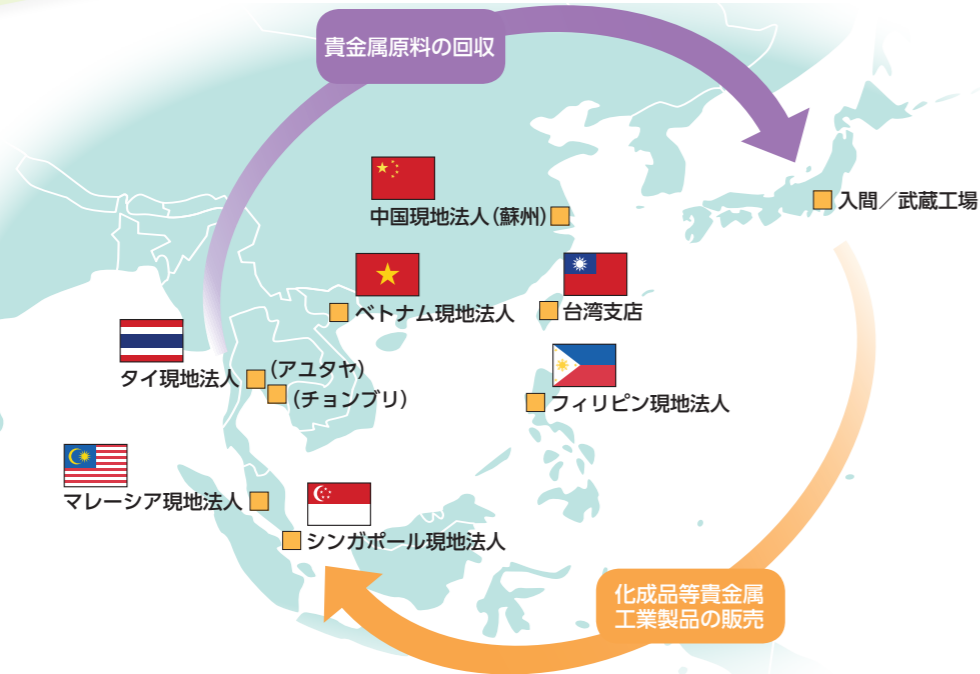
これからも当社は重要な社会的使命を帯びた企業として、貴金属関連事業を成長牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた持続的成長を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

グローバルネットワーク & 営業概況

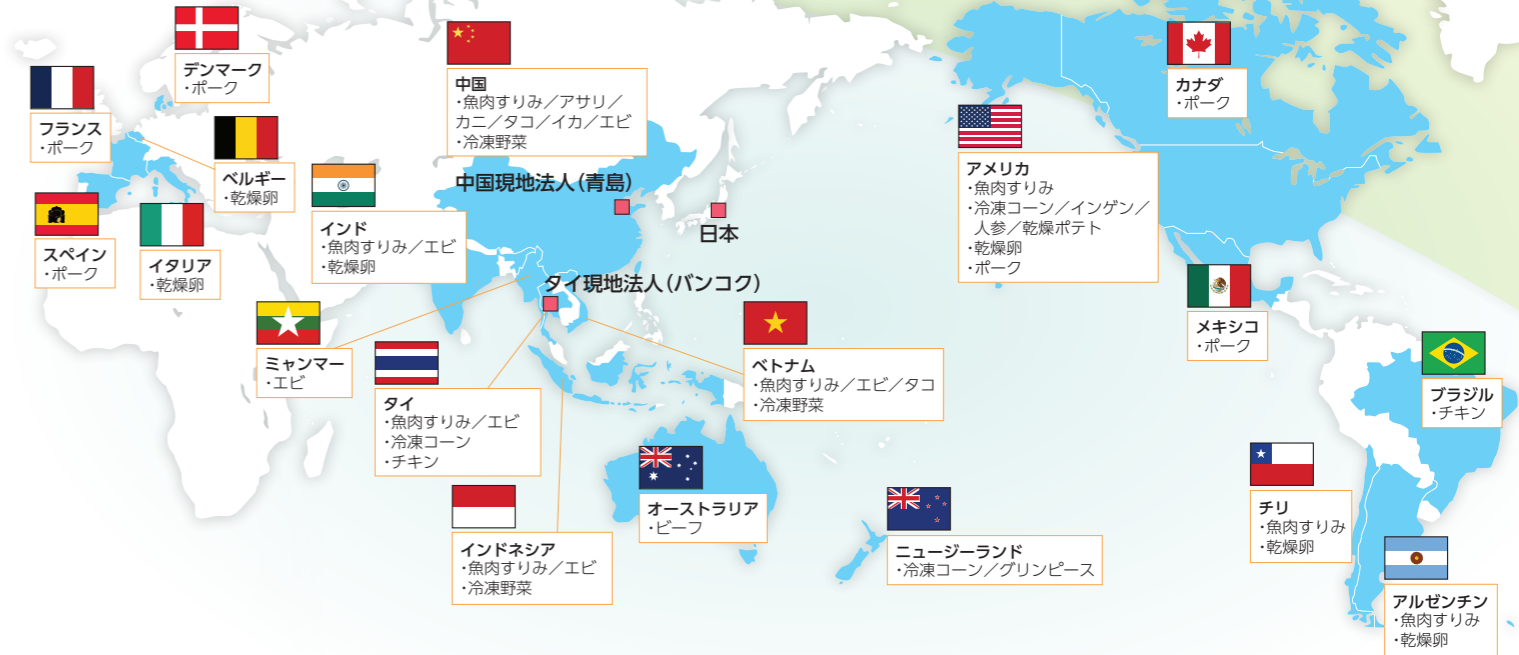
貴金属関連事業 東アジアネットワーク

■拠点(貴金属関連)



食品関連事業の 拠点と主な調達先

■拠点(食品関連) ■食品の調達先



貴金属関連事業

2015年3月期の業績

電子材料等の販売量は減少したものの、主力顧客であるエレクトロニクス業界の生産状況は緩やかな回復基調が続き、貴金属製品の販売量および貴金属相場は銀を除き上昇したことなどから、全体としての売上高は増加しました。環境部門では、対象業界の生産活動が緩やかな回復基調にあり、当社グループの産業廃棄物の取扱量は増加したものの、写真感材回収銀の数量減少と銀価格の下落等から、売上高は減少しました。

2016年3月期の見通しと施策

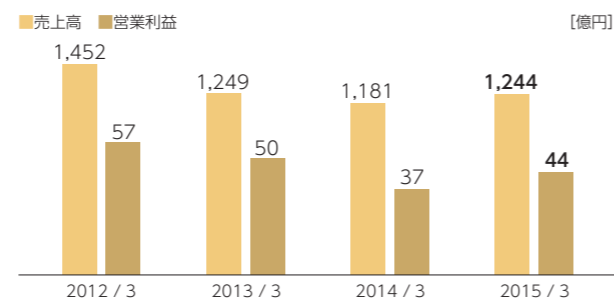
エレクトロニクス業界の回復傾向を背景に、貴金属原料回収量も緩やかな増加が期待されるなか、持続的成長の確保へ向け、「海外拠点の強化」「国内拠点の拡充・効率化」「製品・技術の開発」に注力します。

Q スマートフォン関連の貴金属回収需要が堅調ですが、スマホの次は、どのような需要が期待できますか？

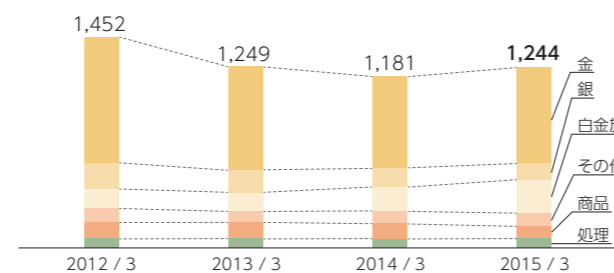
ウェアラブル端末やIoT*関連など諸説ありますが、エレクトロニクス業界の動向は変化が激しく、確実なことは申し上げられません。市場の変化を今後も注視し、回収・製錬技術を常に磨き続けることで、いかなる変化へも迅速に対応することが重要であると考えています。

*Internet of Things: 様々なモノをインターネットでつなぎ、相互通信や自動制御等を通じより安全で快適な生活を実現しようとする取り組み

売上高 **1,244 億円** (前期比 5.4% 増)
営業利益 **44 億円** (前期比 20.0% 増)



品目別売上高 [億円]



食品関連事業

2015年3月期の業績

円安や海外での食材需要増による原価の高騰といった厳しい事業環境ではあったものの、国内の緩やかな景気回復感、個人消費の底堅い動き等を背景に水産品、畜産品及び農産品の販売数量が増加し、価格の上昇も寄与したことから、売上高は増加しました。

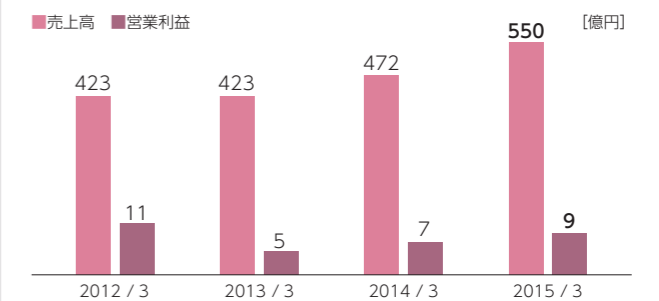
2016年3月期の見通しと施策

国内景況感の緩やかな改善を背景とする高付加価値品の需要拡大、および為替の安定化が期待される中、国内外の顧客ニーズを的確にとらえた営業活動、海外拠点の活用 に注力し、着実な収益確保を図ります。

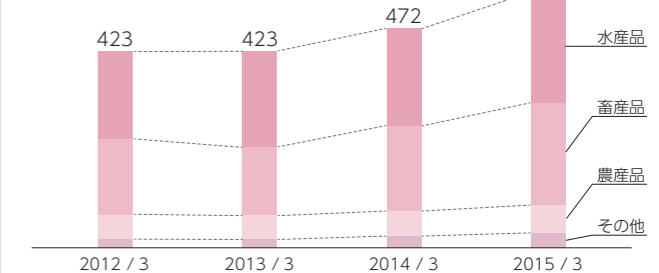
Q 三国間貿易の拡大にあたっては、顧客企業は日系、外資系のどちらがメインとなりますか？

三国間貿易は、グローバルな調達ネットワークを持つ当社食品関連事業に適したビジネスモデルです。立ち上げ当初は日系顧客向けが中心でしたが、当社の仕入ソースや商品への認知度が高まった結果、現在では、海外現地顧客への販売が拡大しています。

売上高 **550 億円** (前期比 16.4% 増)
営業利益 **9 億円** (前期比 20.8% 増)



品目別売上高 [億円]



事業競争力とお客様対応力の強化を目的に、新体制をスタート

貴金属関連事業における事業競争力とお客様対応力の強化を図るための機構改革を実施し、本年4月よりスタートしました。新組織体制のポイントは以下の2点です。

ポイント① 貴金属関連事業を9部門体制に

従 来: 貴金属事業部、環境事業部、生産本部の3部門体制

新体制: 貴金属リサイクル事業部、貴金属材料事業部、メンテナンス事業部、環境ソリューション事業部、金属・環境営業本部、アーバンリサイクル営業部、地金市場部、生産統括本部、品質保証室の9部門体制

目的: 開発力・競争力と顧客対応力の強化

ポイント② 海外管理部と管理本部を設置

従 来: 管理部、財務部、IR部の3部門体制

新体制: 海外管理部を新設。
管理部、財務部、海外管理部、IR部を統括する管理本部を設置

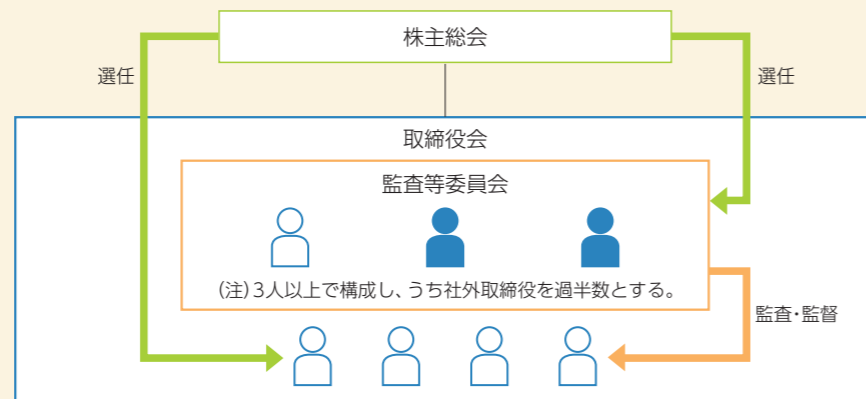
目的: 海外事業推進も含めた管理機能、ガバナンスの強化

監査等委員会設置会社へ移行

当社は本年3月の取締役会で「監査等委員会設置会社」に移行する方針を決議し、6月25日に開催された第66回定時株主総会で承認されたことを受け、監査等委員会設置会社へ移行しました。過半数を社外取締役で構成する監査等委員会を設置することで、業務執行の適法性、妥当性の監査・監督機能の強化ならびにコーポレートガバナンス体制の一層の強化を図り、より透明性の高い経営の実現に取り組みます。

監査等委員会設置会社のイメージ

取締役 社外取締役



ベトナム製錬工場が間もなく竣工

東アジアの貴金属回収ネットワーク強化策の1つとして2014年3月に現地法人を設立したベトナムでは、かねて建設を進めてきた製錬工場が間もなく竣工、稼働します。同国は日本のエレクトロニクス企業がさかんに進出しており、中長期的な貴金属回収需要の拡大が見込まれています。新工場では効率的な貴金属回収が可能であるほか、多くのエレクトロニクス・電子部品メーカーが多数入居するタンロンⅡ工業団地に立地しています。同工場の稼働により、現地における貴金属原料の回収・製錬を加速し、東アジアNo.1のリファイナーへの歩みを着実に進めてまいります。



【工場の概要】
所在地: ベトナム社会主義共和国
フンエン省タンロンⅡ工業団地
主な機能: 貴金属製錬
稼働時期: 2015年9月(予定)

タイ国政府より、製錬処理技術について「金賞」を受賞！

タイでは、2000年に貴金属含有スクラップの回収等の営業拠点として現地法人を設立し、2003年には貴金属製錬の前処理工場を建設、そして2007年より貴金属製錬工程を稼働し、以来、当社の東アジアにおける貴金属回収・製錬ネットワークのハブ的役割を果たしています。このたび同法人では、同国政府工業省による「廃棄物処理工場の安全衛生と法令遵守に関する審査」において貴金属回収・製錬技術を高く評価いただき、「金賞」を受賞しました。

同法人では電子部品のスペックアウト品やX線フィルム原料の廃材などのリサイクル処理工程において、その排ガス処理システム等で日本と同様の最新技術を導入しています。同法人は2011年に「銀賞」を受賞以来、自社の環境管理システムを活かして環境保全技術の改善に取り組み、2012年の「銅賞」およびこのたびの「金賞」の獲得にいたりました。なお今回の「金賞」は、アユタヤ本社だけでなく、2013年に設置したチョンブリ営業所でも受賞しております。



タイ現地法人(アユタヤ)

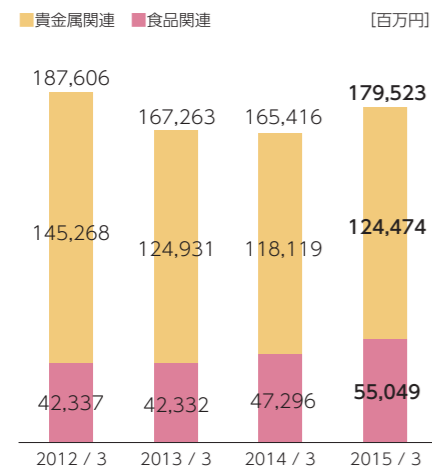


チョンブリ営業所

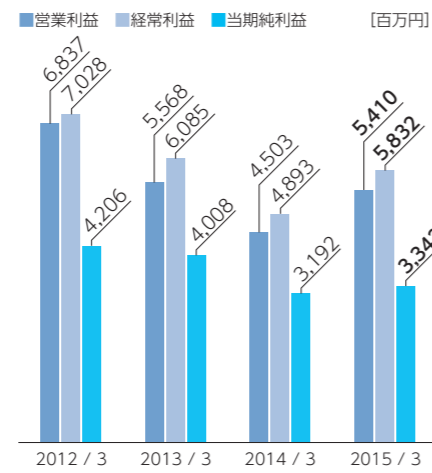


授賞式と表彰状

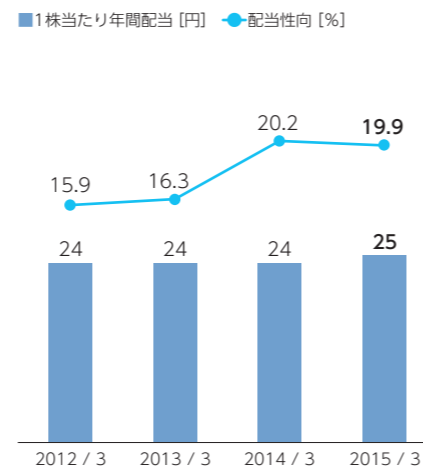
売上高



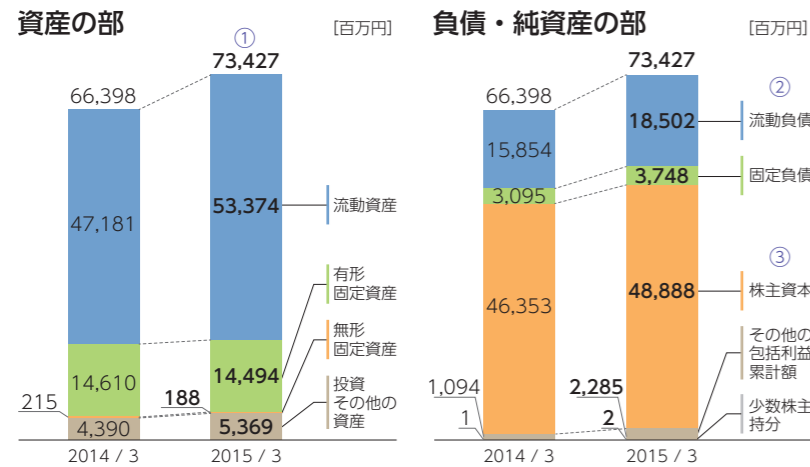
営業利益/経常利益/当期純利益



1株当たり年間配当/配当性向

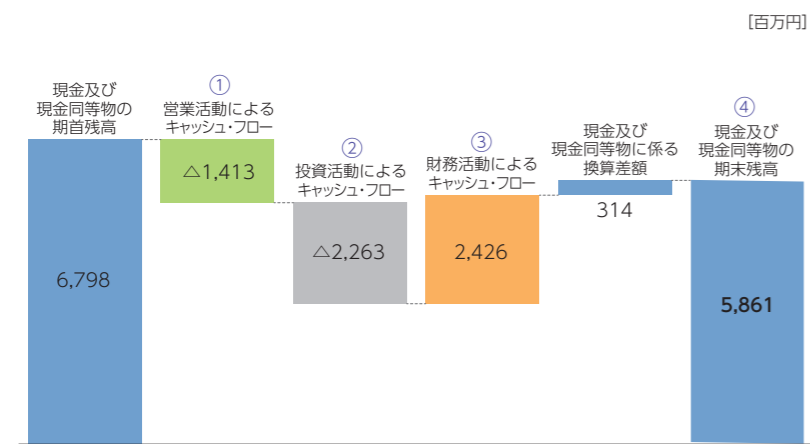


貸借対照表



- ①現金及び預金の減少を上回る売上債権・たな卸資産・投資有価証券の増加により、7,028百万円の増加となりました。
- ②未払金の減少を上回る借入金・未払法人税等の増加により、3,301百万円の増加となりました。
- ③配当金の支払いと自己株式の取得による減少を、当期純利益による増加が上回ったこと、為替換算調整勘定などのその他の包括利益の増加により、純資産の部は3,726百万円増加しました。

キャッシュ・フロー計算書



- ①税金等調整前当期純利益から持分法による投資利益を除き減価償却費を加えた資金の増加と、法人税等の支払額、売上債権の増加及びたな卸資産の増加による資金の減少の差引等により、1,413百万円の支出となりました。
- ②工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得等により、2,263百万円の支出となりました。
- ③配当金の支払いによる減少を借入金の増加が上回ったこと等により、2,426百万円の収入となりました。
- ④以上により、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から937百万円減少し、5,861百万円となりました。

会社概要 (2015年3月31日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数(連結)	989名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員一覧 (2015年6月25日 現在)

代表取締役社長	松田 芳明	監査等委員	内山 敏彦 熊坂 博幸 樋口 和男 中岡 利徳
取締役副社長	對馬 浩二		
専務取締役	徳永 庸夫		
常務取締役	細田 顕治 片山 雄司		
取締役	佐々木 隆茂 山崎 隆一 伊藤 康之 馬場 信明 木下 敦規 石禾 健二		

※監査等委員はいずれも社外取締役です。

事業所 (2015年3月31日 現在)

貴金属事業部	本部 / 仙台 / 水戸 / 東京 / 長野 / 名古屋 / 大阪 / 金沢 / 福山 / 福岡 / 鹿児島 / 台湾
食品事業部	本部 / 仙台 / 塩釜 / いわき / 東京 / 小田原 / 名古屋 / 大阪 / 松山 / 福岡 / 品質保証室
環境事業部	本部 / 仙台 / 埼玉 / 東京第一 / 東京第二 / 水戸 / 神奈川 / 名古屋 / 大阪 / 福岡
生産本部	武蔵工場 / 武蔵第二工場 / 武蔵第三工場 / 入間工場 / 入間第二工場 / 開発センター

関係会社 (2015年3月31日 現在)

マツダ流通株式会社	貨物自動車運送および食品加工原材料の販売
マツダ環境株式会社	車両管理・貴金属製品販売
北海道アオキ化学株式会社	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
日本メディカルテクノロジー株式会社	金属原料の回収・販売
ゼロ・ジャパン株式会社	真空加熱分離装置(VTR)の設計・製造・販売および保守
日鉄住金マイクロメタル株式会社	電子工業用金属製品の製造・販売

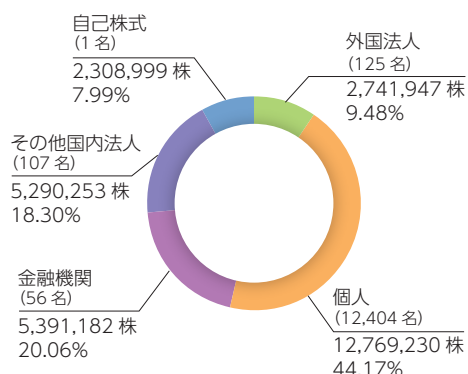
現地法人 (2015年3月31日 現在)

貴金属関連	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
Matsuda Sangyo (Vietnam) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売	
食品関連	松田商貿(青島)有限公司	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介

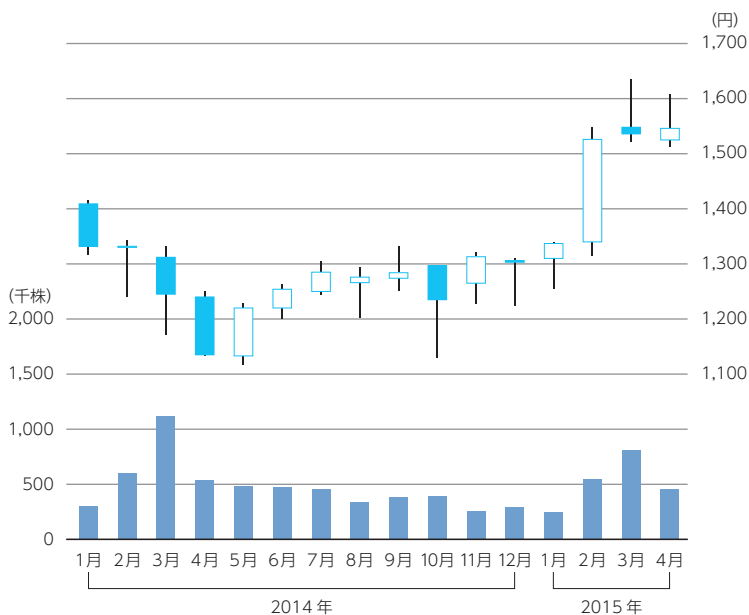
株式の状況 (2015年3月31日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	12,693名

所有者別分布状況 (2015年3月31日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。



松田産業株式会社

証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

